

LESSON1

SEO対策知識編

これまでの SEO 対策の歴史を知ることによってこれからの SEO 対策の未来を知る事ができます。Google と SEO 業者がどのような歴史を辿ったのか知みましょう。

まず知らなくてはならない事は、過度の「SEO 対策」は違法ではありませんが「迷惑行為」であったという事です。評価に値しない情報を他人の信用（被リンク）を利用して検索順位の上位に表示させる今までの SEO 対策は、今後ますます Google の取締が厳しくなることは間違いありません。



Google

知っておこう！

SEO対策の歴史

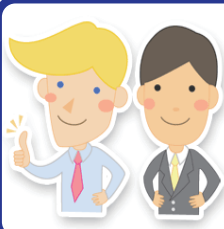


悪徳サイト

Google は大阪に引っ越してきたばかりで日本語がわかりませんでした。そこで知り合った「悪徳サイト」は Google に「親切」にしてくれました。



Google は「親切」にしてくれる「悪徳サイト」と友達になりたいのですが言葉が通じないので信用できません。そこで「悪徳サイト」をよく観察してみると彼はたくさんの友達から信頼されているようでした。



たくさんの友人に慕われている「悪徳サイト」はいい人だと信じた Google は「悪徳サイト」を信頼しようと決めました。



しかし「悪徳サイト」の友達はほとんどが「お金」で雇われた偽物でした。友達から信頼されていると思っていた「悪徳サイト」は全く信用できない人間だったのです。



やがて Google は日本語を…単語レベルで習得しました。その結果、Google は「サイトの内面」を評価できるようになりました。

Google は「素晴らしい内面」（充実したコンテンツ）と、素晴らしい「交友関係」（信頼できるリンク）を持つサイトに高い評価を与える事にしました。



Google は信用をお金で買うような悪いサイトとの付き合いをやめることにしました。

そして Google は日本語を勉強して「交友関係」（被リンク）ではなく「サイトの内面」を評価しようと考えました。

未だ単語レベルでしか日本語を理解しない Google が「文法レベル」でコンテンツを判断する日は遠くありません。しかも現在、世界に30000人近くいると言われる「グーグルサーチクオリティチーム」は日々、SEO スパムを探し、ウェブマスターツールを介して警告を送り続けています。そのことを理解して「正しい SEO」とは何か？

Google を欺（あざむ）き利益を得るのか？

それとも…Google に従い評価されるサイトを目指すのか？

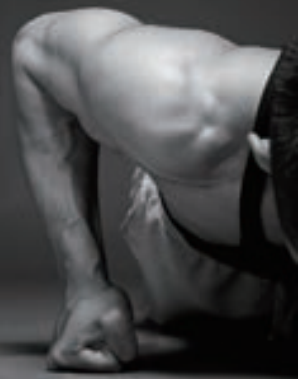


ポイント

Google の進化はこれからも続くでしょう。SEO 業者がいかに巧妙化をしようとディレトリ化が進めばそれを見破る事は容易であり、SEO 業者に付け入るスキはなくなります。現在日本でもハミングバードアップデートが進められていますが、これは「siri(音声認識)」に対応したアップデートで「文法」への理解が進んでいると解釈して間違いないでしょう。外部評価から内部評価へ移行する Google の戦略は明白です。今後の Web 市場は「インハウス SEO」なくしては語れないと言っても過言ではないでしょう。

LESSON1 SEO対策知識編

SEO 対策と言えば「被リンク」と言う時代は終わりました。
内部対策の評価査定は上がる一方。
複合的な SEO 対策を講じなければ上位表示は困難です。



大きな影響力を持つ外部対策。元来はBtoBでは「取引先」を自社サイトに紹介する概念から「信頼関係が無ければ取引はしない」→「優良企業と評価」され「被リンク」は高く評価されました。またBtoCならブログなどで「あのお店美味しかったよ…」などの口コミ評価から「被リンク」は「優良企業」の指標とされてきました。この「他人の評価」は自己評価よりも信ぴょう性が高く「被リンク」のパワーが落ちた現在でもその影響力は大きいモノと考えられます。

しかし「グーグルサーチクオリティチームジャパン」の存在がある以上、不用意な「被リンク」はお勧めできません。貴方の被リンクが「スパム」と判断された場合、そのリンク元が速やかにリンクを外してくれる確証などありません。それどころか悪徳SEO業者の中には「脱リンク」に費用を請求するケースが後を絶ちません。中には「脱リンク」に数百万円の費用を請求された例も報告されています。弊社では「ハイリスク ハイリターン」と言われる「被リンク SEO対策」よりも…「ノーリスク ミドルリターン」の「SEO 内部対策」を強化する事を圧倒的にお勧めしています。Google はウェブマスターガイドラインの中で「SEO 対策を目的とした被リンク」を禁止する事を明言しています。現在グレーゾーンで罰せられない被リンクも、いつスパムリンクになるか解りません。そうなった場合、ウェブマスターツールには「警告」だけが届き、どのリンクがスパムとなったのかはわかりません。その度にリンククリーニングをする労力は途方もない時間を要します。

被リンク SEO

インハウス SEO



「インハウス SEO」とはラーメンを美味しくする為のモノです。

被リンク SEO とは、まずいラーメンを「美味しい」と「口コミ」して集客しているようなモノです。それでも貴方は…

**「美味しい」と風潮してまずいラーメンを提供しますか？
それとも…ラーメンを「美味しく」する努力をしますか？**